

◎九州総合通信局長表彰

電波の日表彰受賞者（3個人・1団体）

白石 勝洋 様（一般社団法人日本コミュニティ放送協会 監事）

長きにわたり一般社団法人日本コミュニティ放送協会九州地区協議会会長として自治体との防災協定の締結などに尽力され、九州におけるコミュニティ放送の健全な普及・発展に多大な貢献をされました。

福迫 武 様（国立大学法人熊本大学大学院 教授）

小電力無線システムの高度化に関する調査検討会の座長として、地域コミュニティ無線の技術的条件や普及方策を取りまとめ、電波の有効利用に多大な貢献をされました。

吉永 修治 様（日本放送協会宮崎放送局 副局長）

長きにわたり、九州・沖縄地域テレビ受信者支援センターの責任者として、テレビ受信環境整備に尽力され、九州における地上テレビ放送の完全デジタル化の達成に多大な貢献をされました。

対馬無線漁業協同組合 様（代表：代表理事組合長 田代 静也）

多年にわたり漁業通信を通じ、対馬海域の気象や漂流物情報などの航行安全情報を提供するとともに、近年は災害時に備え緊急情報を漁船へ一斉送信するシステムを導入するなど漁船の安全航行の確保に多大な貢献をされました。

情報通信月間表彰受賞者（1個人・5団体）

江端 正直 様

長きにわたり産学官連携による地域情報化の推進母体である、一般社団法人九州テレコム振興センター会長として、人材育成や調査研究などの事業に取り組み、九州における情報通信の普及・発展に多大な貢献をされました。

長崎県 様（代表：知事 中村 法道）

県内における「春のあんしんネット新学期一斉行動」を積極的に展開し、青少年及び保護者等のネットリテラシーの向上及びフィルタリングの利用促進に取り組み情報通信の健全な利用環境の普及に、多大な貢献をされました。

豊後高田市 様（代表：市長 永松 博文）

テレワーク時の課題を解消するグループウェアの運用を推進し、子育て中の女性の雇用を確保するなど、地域経済及び情報通信の発展に多大な貢献をされました。

喜界町 様（代表：町長 川島 健勇）

海底光ケーブルの敷設及び町内の超高速ブロードバンド環境の整備により、離島地域における情報通信基盤整備と利活用の全国モデルとして、地域情報化の推進に多大な貢献をされました。

高森町教育委員会 様（代表：教育長 佐藤 増夫）

ICTを活用した教育環境を整備するとともに、光通信網の全戸敷設により、学校と家庭・地域の連携を深め、教育の情報化を通じた町の活性化を実現するなど、情報通信の普及・発展に多大な貢献をされました。

熊本市立三和中学校 様（代表：校長 永松 一政）

地域の公立学校が連携した小中高一貫の情報モラル協働学習において、生徒による推進員を育成するなど、青少年のインターネット利用モラルの向上に多大な貢献をされました。

◎九州電波協力会長表彰

表彰受賞者（4団体）

八女市 様（代表：市長 三田村 統之）

被災時における住民への情報伝達手段として有効な臨時災害放送局制度について、八女地区総合防災訓練での活用や臨時災害放送局開設を想定した送信点調査を積極的に実施され、その周知と利活用について多大な貢献をされました。

九州・沖縄マルチメディア放送株式会社（代表：代表取締役社長 佐々木 克）

わが国初の V-Low マルチメディア放送の業務認定を受け、平成28年3月から本放送を開始するなど、全国に先駆けて九州地区で新たな周波数帯での新放送メディアを展開されました。

株式会社VIP（代表：代表取締役社長 仁平 成彦）

わが国初の V-Low マルチメディア放送用の移動受信用地上基幹放送局を開設し、平成28年3月から本放送を開始するなど、全国に先駆けて九州地区で新たな周波数帯での新放送メディアを展開されました。

九州旅客鉄道株式会社社員研修センター（代表：所長 大谷 資）

多年にわたり列車の安全運行のため、乗務員の無線従事者資格取得に積極的に取り組み、多数の無線従事者を養成し電波秩序の維持向上に多大な貢献をされました。